

大会要項

- 名称** 平成 29 年度第 96 回全国高等学校サッカー選手権大会
- 主催** 公益財団法人 日本サッカー協会、公益財団法人 全国高等学校体育連盟、民間放送 43 社
- 主管** 公益財団法人 東京都サッカー協会、東京都高等学校体育連盟、一般社団法人 神奈川県サッカー協会、神奈川県高等学校体育連盟、公益財団法人 埼玉県サッカー協会、埼玉県高等学校体育連盟、公益社団法人 千葉県サッカー協会、千葉県高等学校体育連盟、
- 後援** スポーツ庁、読売新聞社、東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、さいたま市教育委員会、千葉市教育委員会、市原市教育委員会
- 協賛** 株式会社明治、富士ゼロックス株式会社、帝人株式会社、トヨタ自動車株式会社、アットホーム株式会社、プーマジャパン株式会社

日程 開催日

- 平成 29 年 12 月 30 日(土) 開会式・開幕戦
12 月 31 日(日) 1 回戦
平成 30 年 1 月 2 日(火) 2 回戦
1 月 3 日(水) 3 回戦
1 月 5 日(金) 準々決勝
1 月 6 日(土) 準決勝
1 月 8 日(月・祝) 決勝

- 会場** 東 京：駒沢陸上競技場（開会式・開幕戦～準々決勝）、味の素フィールド西が丘（1・2 回戦）
神奈川：ニッパツ三ツ沢球技場（1・2 回戦）、等々力陸上競技場（1 回戦～3 回戦）
埼 玉：埼玉スタジアム 2002（準決勝・決勝）、浦和駒場スタジアム（1 回戦～準々決勝）
NACK5 スタジアム大宮（1・2 回戦）
千 葉：フクダ電子アリーナ（1 回戦～3 回戦）、ゼットエーオリプリスタジアム（1・2 回戦）

組合せ 平成 29 年 11 月 20 日(月)に日本テレビ内にて抽選会を行い決定する。

代表者会議

平成 29 年 12 月 29 日(金)に(公財)日本サッカー協会内にて行う。

開会式 平成 29 年 12 月 30 日(土)に駒沢陸上競技場にて行う。

参加資格

- (1) 平成 29 年度公益財団法人日本サッカー協会(以下、本協会という)に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
- (2) 選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
- (3) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
- (4) 平成 10 年 4 月 2 日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技 3 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
- (5) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。

- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7) ① 転校後 6 ヶ月未満の者は参加を認めない。但し、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。
(外国人留学生もこれに準ずる)
- ② 転校を伴わなくても、他の連盟から高等学校体育連盟加盟チームへ移籍する場合は、上記(7)①に準じるものとする。ただし、この規定(7)②の適用は当該年度内に限るものとする。
- (8) 選手は、在籍する学校長及び所属都道府県サッカー協会長の承認を必要とする。
- (9) 選手は、本協会発行の選手証(写真貼付)を所持していること。
- (10) 外国人留学生の登録は 4 名までとし、試合出場は 2 名までとする。
- (11) 参加資格の特例
 - ① 本条(2)・(3)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - ② 本条(4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技 3 回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1. 学校教育法第 72 条・第 115 条・第 124 条および第 134 条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2. 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ① 全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - ② 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ③ 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ① 全国高等学校サッカー選手権大会要項を遵守し、大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - ② 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

[メディカルチェック]

- 1. 本大会出場チームは、12 月 5 日(火)までに本協会が定めた「第 96 回全国高等学校サッカー選手権大会出場選手に対する健康調査用紙(以下、健康調査用紙という)」を本協会に提出しなければならない。
- 2. 本協会の医学委員会は「健康調査用紙」において医師所見を示した選手に対する医学的処置について、全国高等学校体育連盟に対して勧告を行うことができる。

参加チーム数

本大会は 46 道府県代表各 1 チーム、加盟校数が最も多い東京都代表 2 チームの計 48 チームによって行う。

大会形式

トーナメント方式により優勝以下第 3 位までを決定する。但し第 3 位決定戦は行わない。

競技規則

大会実施年度の本協会「[サッカー競技規則](#)」による。

競技会規程

(1) 競技のフィールド

天然芝フィールドにて行う。

(2) 試合球

プーマ社製『プーマエリート 2.2 フェュージョン(FIFA QWALITY)ボール J』とする。
マルチボールシステムを採用する。

(3) 競技者の数

①各試合 20 名を登録する。

競技者の数：11 名

交代要員の数：9 名以内

試合前のウォーミングアップ等で負傷等が発生した場合、試合開始前ならば大会派遣医師の判断によりスターティングメンバーを交代要員と変更できる。また負傷等で欠場となる選手の代わりに、大会申込を行った選手の中から交代要員を補充することができる。

②交代を行うことができる数：5 名以内

(4) 役員の数

ベンチ入り出来る役員の数：5 名以内

(5) テクニカルエリア：設置する。

(6) 競技者の用具

① ユニフォーム

- a. ユニフォームについては正副 2 色(シャツ・ショーツ・ソックス、FP・GK 用共)を参加申込(WEB 登録)の際に記載し、各試合必ず携行すること。参加申込時に登録されたものを原則とする。正副の 2 色については明確に異なる色とし、同色の使用は避けること。
- b. 選手番号については 1 番から 30 番までの通し番号とする。
- c. チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- d. シャツの前面・背面に選手番号を付けること。ショーツの番号については付けることが望ましい。
- e. ユニフォームの色、選手番号の参加申込み以後の変更は認めない。
- f. ユニフォーム広告については高等学校体育連盟の規則により禁止する。
- g. ユニフォームに他のチーム(各国代表、プロクラブチーム等)のエンブレム等が付いているものは着用できない。

- h. 縞のユニフォームに番号表示をする際、明確な識別が困難なときには25～35cm四方の台地に背番号を、10～15cm四方の台地に胸番号を付けること。
- i. ソックスの上にテープまたはその他の材質のものを貼り付けるまたは外部に着用する場合、それは着用するまたは覆う部分のソックスの色と同じ、または透明のものでなければならない。
- j. その他項目については(公財)日本サッカー協会の[ユニフォーム規程](#)(2017年4月13日改正)に基づいたユニフォームを使用しなければならない。規程で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。

第5条〔ユニフォームへの表示〕※該当箇所のみ抜粋

- ・ GK グローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示
- ・ 両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅(10cm から 8cm に変更)
- ・ 同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離

(7) 試合時間

① 1回戦～準々決勝

試合時間は80分(前後半各40分)とする。

ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)：原則10分間

勝敗の決定しない場合はペナルティキック方式により勝利チームを決定する。

② 準決勝

試合時間は90分(前後半各45分)とする。

ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)：原則15分間

勝敗の決定しない場合はペナルティキック方式により勝利チームを決定する。

③ 決勝戦

試合時間は90分(前後半各45分)とする。

ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)：原則15分間

勝敗の決定しないときは20分(10分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式により勝利チームを決定する。

延長戦に入る前のインターバル：原則5分間

延長戦ハーフタイムのインターバル：なし

PK方式に入る前のインターバル：原則1分間

④ アディショナルタイムの表示：行う。

(8) マッチコーディネーションミーティング

競技開始時間の70分前に実施する。

(9) その他

第4の審判員の任命：行う。

負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

懲罰

- (1) 本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
- (2) 本大会は、本協会「[懲罰規程](#)」に則り、大会規律委員会を設ける。

- (3) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、規律委員会において決定する。
- (4) 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- (5) 本協会規程および本記載事項にない事例に関しては大会規律委員会にて決定する。

表彰

- (1) 優勝以下第3位までに表彰状並びにメダルを授与し、優勝チームには優勝旗、文部科学大臣杯、アルゼンチン共和国杯、ミドルセックス・ワンダラーズ杯、チャーリー・マイヤー杯を授与して次回までこれを保持せしめる。
- (2) 本大会においてフェアプレー精神の育成・向上のためフェアプレー賞を本協会選考基準に従い選考し、トロフィーを授与する。フェアプレー賞はチーム単位としベスト4に進出したチームの中から選考される。

その他

- (1) 参加資格に違反し、そのほか不都合な行為のあったときは、そのチームの出場を停止する。
- (2) 都道府県優勝旗および校章旗又は部旗を必ず持参のこと。
- (3) 荒天等、その他不測の事態により本大会の開催が困難な状況が発生した場合は、主催者の判断によって会期等の変更または中止を別途定める場合がある。